事例No.	2813
公表年度	R5
団体の属性	町村
団体名	青森県田子町

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・観光 ・移住定住

事例種類	地域資源の活用

事例内容・タイトル

日本一『にんにく』にこだわったまちづくり

出典

令和５年度ふるさとづくり大賞事例集

ふるさとづくり大賞　地方自治体表彰



日本一『にんにく』にこだわったまちづくり

青森県田子町（たっこまち）

DATA

事　例　名：日本一『にんにく』にこだわったまちづくり
所　在　地：青森県三戸郡田子町大字田子字天神堂平81番地
連　絡　先：TEL 0179-32-3111
FAX 0179-32-4294
E-mail takko0104a@town.takko.lg.jp
ホームページ：https://www.town.takko.lg.jp

取り組みの概要

61年前、出稼ぎに代わる新たな換金作物として導入した「一粒のにんにく」が町の産業を築き、独自のにんにく文化を醸成。「にんにく」にこだわったまちづくりにより、生産から加工、ブランド化による他品種との差別化、にんにくイベントの開催、にんにくがつないだ海外姉妹都市との交流、ご当地グルメ開発など、町を挙げてのにんにくパワー全開の取り組みにより町民が一丸となりさらなる活動へと展開している。

評価された点

●風土の特性を活かし、長年にわたり特産品の持続的生産とブランディング化を図り、国内農業産品の発展に貢献している活動は優れた事例。今後、世界規模で食料サプライの不安定化が加速化する中、大切な取り組みである。

●田子にんにくというブランドを半世紀に渡って、品種改良から加工、グルメ開発や海外との交流など多角的に展開を図ってきた点を評価。

●「にんにく」のブランド化に長期間にわたって取り組み、実現させた努力は称賛に値する。

●地域の農産物をブランディングしていくことはどこでも取り組まれているが60年かけて品種改良を繰り返しながらひとつの食材と向き合い続け、飲食店や大学と連携するなどして町全体で一次産業から六次産業まで取り組まれている点を評価。

取り組みのプロセス

取り組みを実施するに至った要因・背景や地域課題
その取り組みを実施するに至った要因・背景や地域課題について記載。

行政や外部からの支援
行政や外部からの支援などについて記載。

きっかけ　1962年～
・出稼ぎに代わる冬の現金収入を得るために農協青年部で「にんにく」を導入。

1966年～ 生産量日本一へ





・初出荷。
・1970年にんにく生産部会設立（部会員数67名）。
・1975年東京市場から品質、量ともに日本一の評価を得る。
・1985年にんにくシンポジウム開催（全国規模）。

・国内だけに留まらず、世界とつながるために。

1988年～ 世界のにんにく産地と姉妹都市交流開始



・米国カリフォルニア州ギルロイ市。　・大韓民国忠清南道瑞山市。
・イタリアモンティチェリドンジーナ町。

・価格の安い輸入物が大量に国内に流通し、産地崩壊の危機を迎えた。

1993年～ にんにくにこだわったまちづくり開始




・町中に「にんにく」モチーフのモニュメント。
・にんにくとべごまつり開催。にんにく3大祭りに発展（にんにく収穫祭、にんにくまつり）。
・富士産業（株）青森工場誘致（にんにく加工工場）。
・ガーリックセンター（にんにく料理レストラン・にんにく加工品販売）。

・病害虫等品質に対する不安があった。

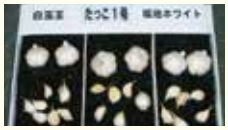
1997年～ 品質の確保と更なるブランド化へ



・病害虫処理施設建設により、市場や小売店からのクレームが減少。
・にんにく専用CA冷蔵庫建設。周年出荷、安定供給、品質の劣化防止を実現。
・「たっこにんにく」が東北初の地域団体商標登録。全国に認知される。

・施設は国庫事業を活用。

2017年～ 他産地との差別化




・独自品種「たっこ1号」が国に登録。他品種との差別化に向け増殖事業を開始。
・大学との連携により課題解決に向けた実証事業を開始。
・ご当地グルメ「たっこガーリックステーキごはん」

今後の展望
・にんにくが持つ機能性などを明らかにし、さらなる進化とブランド化を図る。
・にんにくでつながり、食と観光を目的に人が集う、交流が盛んな町へ。

受賞者のコメント

にんにく生産開始60周年を迎え、これまで多くの苦労もありましたが、にんにくへの情熱を忘れず町民が一丸となって協力し続けました。この表彰は、ただの賞ではなく、にんにくへの熱い想いと地域の結束の証です。60年間に及ぶ苦労や努力が、豊かな収穫や誇りある商品、独自品種の開発、国際交流、そして地域の祭りやご当地グルメへと結実しました。この栄誉に感謝し、これからも心を込めて『たっこにんにく』の魅力を伝え、地域とともに成長し続けます。